

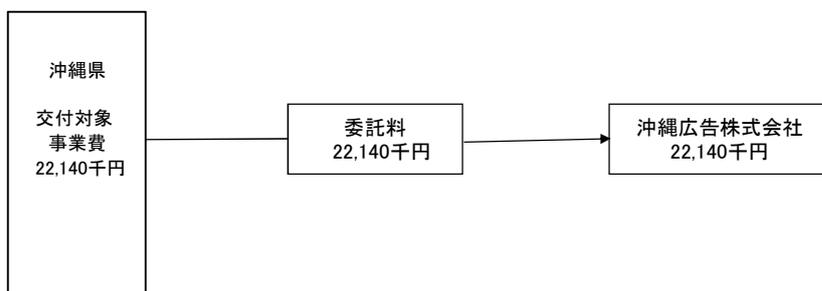
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	58 「戦世の記憶」平和発信強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ				
担当部署名	子ども生活福祉部平和援護・男女参画課（平和祈念資料館）	事業実施（予定）年度	平成 28 ～ 30 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国内外に向けた平和の発信と次世代への継承 Ⅲ-7		
事業内容	沖縄戦の記憶の次世代への継承及び「沖縄の心」を世界に発信するため戦争体験証言の収録・発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（    年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（    ）						
予算額・執行額【単位：千円】		27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	—	0	0	30,000
		(b) 予算現額	0	—	0	0	30,000
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計 (b+d)	0	—	0	0	30,000
	B. 執行済額		0	—	0	0	22,140
	うち交付金充当額		0	—	0	0	17,712
	C. 次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率 (%) (B/A)		#DIV/0!	—	#DIV/0!	#DIV/0!	73.8%
予算の状況の説明		・予算額は戦争体験証言の多言語化（翻訳吹き替え）等に係る委託料を計上した。 ・入札残が生じ、執行率は73.8%となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H29活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	戦争体験証言映像多言語化(30名)	目標				達成	
		実績				達成	
	戦争体験証言多言語化(70名分)吹き替え	目標				達成	
		実績				達成	
戦争体験証言文ネット公開(70名分)	目標				達成		
	実績				未達成		
達成状況説明	・証言映像を翻訳7カ国語に翻訳し、翻訳した7カ国語で証言映像の吹き替えを行い、DVDを作成した。 ・戦争体験証言文ネット公開については、証言映像の7カ国語翻訳作業において、証言内容を確実に伝える為に、慎重な確認と修正を行う事が必要であり、その作業に十分な時間を確保することが優先であると考えて、平成30年度に実施することとした。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H29成果目標（指標）		基準値(28年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	戦争体験証言映像多言語化(30名)	目標				達成	
		実績				達成	
	戦争体験証言映像多言語化DVDの作成及び貸出	目標				達成	
		実績				一部未達成	
	戦争体験証言文ネット公開(70名分)	目標				達成	
		実績				未達成	
	【H30成果目標】 (館内公開) 年度別入館者数における有料観覧のうちの外国出身入館者	目標				達成	17000人以上
		実績				一部未達成	
	【H30成果目標】 (WEB公開) 当館ホームページのアクセス(ログ)件数のうち多言語化ページへのアクセス(ログ)件数の月平均件数	目標				達成	1215件以上
実績					一部未達成		
【H30成果目標】 沖縄戦について理解が深まったかを含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	目標				達成	80%以上	
	実績				未達成		
進捗状況説明	・当初計画どおり戦争体験証言多言語化（証言映像30人）と証言映像多言語化吹き替え（70名）は作業を完了した。 ・戦争体験証言映像多言語化DVDの作成は完了し、貸出についても貸出用ディスクの準備中。 ・戦争体験証言文ネット公開については、証言映像の7カ国語翻訳作業の時間確保のため未達成となった。 ・今後、成果報告展の実施（国内2カ所）と戦争体験証言のネット公開を実施する予定である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本事業によって、デジタル資料としたものについては、今後、インターネット上や平和祈念資料館内での閲覧に供するほか、成果報告展を開催することとしているが、平和発信や教育普及活動にどの程度寄与しているか、未検証である。</p>	<p>・多言語化された戦争体験証言資料の発信について、より効果的な手法を検討するために、現在の取り組みを検証していく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・多言語化された戦争体験に係る資料における館内、及びインターネット上での周知度合いについて、外国人来館者数や多言語化ウェブサイトのアクセス数等を指標に検証するとともに、沖縄戦についての理解度が深まったかについてアンケート調査等を行い検証していく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
22,140	22,140	17,712	4,428	0	0	0



資金の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託業者は一般競争入札により選定しており、妥当である。</p> <p>○費目・用途が必要なものに限定されているかについては、支出等に関する書類により確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	